



このコーナーでは、病院で取り組んでいる様々な事業を紹介します。

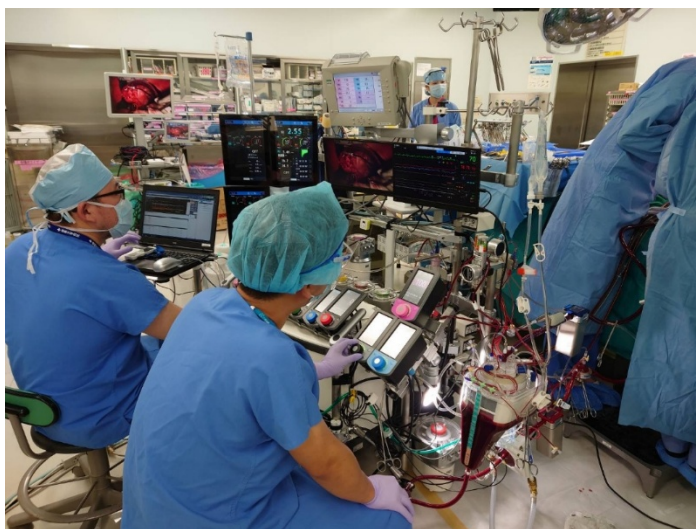
臨床工学部について

臨床工学部は平成19年1月に徳島大学病院 ME管理センターとして発足し、令和8年4月に臨床工学部へと名称変更し現在に至ります。発足以来、医療機器の安全管理と高度医療の現場支援を担い、当院の医療の質と安全性向上に継続的に貢献してまいりました。

当部は医師2名に加え、生命維持管理装置（血液浄化装置、人工心肺装置、人工呼吸器、ECMOなどの補助循環装置、等）および先端技術を応用した医療機器の操作・保守管理を担う専門職である臨床工学技士26名の計28名で構成され、24時間体制で医療機器管理および臨床支援に対応しています。また高度化・複雑化する医療機器に対応するため、専門知識と技術の向上を目的とした職員への教育・研修にも積極的に取り組んでいます。

配属先として、ME機器センター（NICUを含む）、血液透析室、集学治療病棟、血管撮影室（循環器内科・小児科）、手術室、内視鏡センター、外来業務と多岐にわたり、それぞれの現場において専門性を発揮しています。医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師などの多職種と連携し、チーム医療の一員として安全で質の高い医療を実践しています。また、令和5年度より医療安全管理部にも参画し、医療機器に関するリスクマネジメントや安全対策の推進、職員教育にも関与しています。さらに、タスクシフトの一環として2025年度より臨床工学技士が手術器械出し業務の一部に携わる取り組みを開始しました。ロボット手術や整形外科、眼科領域の一部症例において実施しており、従来の手術室業務と並行して関わることで、機器管理と術中支援の双方の視点から手術の安全性および効率性の向上に貢献しています。

今後も臨床工学技士の専門性を最大限に活かし、先進医療の発展と安全で信頼される医療の提供に貢献してまいります。



臨床工学部 技師長 近田 優介



写真 上 近田技師長
左 手術室の様子

NEWS・イベント大募集！

「Harmony」は、病院職員を対象に、院内情報の伝達や職員のコミュニケーションの活性化などを目的として発行しております。行事やイベントなどのNEWSや院内で周知してほしいTOPICSなどがありましたら、どんどん病院総務課広報・企画係（bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp）までお寄せください。また「Harmony」で取り上げたら良いと思うテーマなど、ご意見・ご提案もお待ちしております。



精神科医療の変革と働きやすい病院を目指して — 多職種連携・働き方改革・ワークライフバランスを見つめて —

病院長補佐(労働環境・イノベーション担当)
沼田 周助



病院長補佐(労働環境・イノベーション担当)を拝命しております精神医学分野の沼田周助です。このたび、院内広報誌に寄稿の機会をいただきましたので、日頃感じておりますことの一端を述べさせていただきます。

精神科医療を取り巻く環境は、この十数年で大きく変化してまいりました。治療方針の決定においては、従来の医師主導型のインフォームド・コンセントから、医師と当事者が協働して治療を選択する共同意思決定(Shared Decision Making: SDM)へと変遷しております。また、治療目標も、症状改善を中心とする「臨床的リカバリー」から、就労や教育など社会参加を重視する「社会的リカバリー」、さらには当事者自身が望む人生の実現を目指す「パーソナルリカバリー」へと広がりを見せています。さらに、児童思春期医療、リエゾン精神医療、緩和ケア医療など、精神科が担う領域は年々拡大しており、多職種連携や院内横断的な活動の重要性は一層高まっています。私自身、徳島大学病院病院長補佐として病院運営に携わる中で、医療従事者の働き方改革や職場環境整備の重要性を日々実感しております。質の高い医療を持続的に提供するためには、医療者自身が心身ともに健全に働くことのできる環境づくりが不可欠です。多職種が互いを尊重し、それぞれの専門性を生かしながら協働できる組織風土は、患者さんにより良い医療を提供する基盤になるものと考えております。「働きやすい徳島大学病院を実現すること」は、現在の私の大きな目標の一つでもあります。精神医学教室の運営に加え、所属する関連学会における役割、さらには2025年度より拝命しております病院長補佐としての職務など、さまざまな機会をいただく中で、自身のワークライフバランスについて改めて考えるようになりました。そのような中、教授就任後に再開したのがゴルフです。学生時代のゴルフ部在籍以来長く離れておりましたが、自然の中で身体を動かす時間は、心身の良いリフレッシュとなっています。運動がストレス耐性を高めることは科学的に証明されていますし、ゴルフを通じて世代や専門領域を超えた交流が生まれることも、大きな魅力の一つと感じております。病院関係者が参加可能な医学部ゴルフ部主催の蔵本祭コンペも毎年11月に開催されています。参加をご希望の方はぜひご連絡ください。

変化の大きい時代だからこそ、精神科医療も、医療者自身の働き方、そして人生の楽しみ方も柔軟であることが求められています。時代の変化に真摯に向き合いながら、患者さん、病院、そして地域社会に貢献できるよう努めてまいりたいと考えております。



病院NEWS

徳島大学病院新人情報交換会を開催しました！



令和8年5月12日、JRホテルクレメント徳島において徳島大学病院新人情報交換会が開催されました。約250人の参加があり、指導医師、研修医、看護師等が職種を越えて交流を深めました。



	出席者	
	新人	指導者
医師	18	26
歯科医師	10	10
看護部	61	81
薬剤部	3	5
医療技術部	12	7
栄養部	0	0
事務部	8	8
計	112	137



小児歯科 助教 鈴木 結加里

令和8年4月より徳島大学病院小児歯科に入局しました、鈴木結加里と申します。これまで徳島大学の研修医を経て同大学大学院小児歯科に所属し、う蝕治療や咬合誘導などの小児歯科臨床に携わるとともに、CT画像を活用した小児の口呼吸の軟組織評

価に関する研究に取り組んでおります。休日は読書や散歩などでリフレッシュすることが多く、落ち着いた時間を大切にしています。仕事では一つひとつ丁寧に取り組み、周囲の先生方やスタッフの皆様から多くを学びながら成長していきたいと考えております。将来的には臨床と研究の両面で貢献できることを目標としております。日々の診療の中で得た経験を大切にしながら、より質の高い医療を提供できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



ER・災害医療診療部 特任助教
中野 勇希

令和8年4月より救急集中治療科に所属しております、中野勇希と申します。救急集中治療領域を中心として、重症患者管理、院内急変対応などに携わっております。

救急・集中治療の現場では、迅速な判断と多職種による連携が求められます。日々緊張感のある環境ではありますが、患者様やご家族に安心していただける医療を提供できるよう、責任感とやりがいを持って診療にあたっております。これまでの経験を生かしながら、周囲の先生方、多職種の皆様と協力し、患者様一人ひとりに寄り添った安全で質の高い医療の実践に努めてまいります。また、救急・集中治療領域の発展と当院医療への貢献ができるよう、今後も研鑽を積んでまいりたいと考えております。

今後とも何卒よろしくお願いいたします。



形成外科 医員 茂木 勝矢

令和8年4月より徳島大学形成外科に入局いたしました。

出身は徳島県で、徳島大学卒業後、徳島大学病院にて臨床研修を終了しました。

現在は腫瘍や再建など形成外科領域の幅広い手術を経験させていただいて

おり、充実した環境の中で日々多くのことを学ばせていただいております。まだまだ未熟ではありますが、一日でも早く一人前の医師として成長するとともに、患者様一人ひとりに寄り添った医療を提供できるよう努力してまいります。また、地元徳島の医療に少しでも貢献できる医師になれるよう研鑽を積んでいきたいと考えております。

最近趣味としてランニングに取り組んでおり、来年は徳島マラソンへの出場にも挑戦できればと考えています。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



消化器内科 医員 本田 真奈美

令和8年4月より徳島大学の消化器内科に入局いたしました、本田真奈美と申します。このたび大学院修了を機に、地元である徳島に戻り診療に携わっております。現在は内科専攻医2年目として、超音波検査、内視鏡検査、肝細胞癌に

対するTACE・RFAなどを学びながら、入院診療や救急対応など幅広く経験を積んでいます。

久しぶりの徳島での生活にも少しずつ慣れ、休日は散歩やカフェ巡りを楽しんでいます。趣味のバレエも再開できればと思っています。

徳島大学医学部栄養学科の卒業生であり、管理栄養士の資格を有しています。また、岡山大学病院で初期研修医および内科専攻医として医学の研鑽を積み、NST活動や基礎研究・臨床研究に従事してまいりました。これらの経験も生かしながら、日々の診療に還元していければと考えています。地域の皆さまに信頼していただける医師を目指し、真摯に診療に取り組んでまいります。何卒よろしくお願いいたします。



医療技術部 臨床工学技術部門 臨床工学士
赤松 美海

令和8年度より臨床工学技術部門の臨床工学士として勤務しております、赤松美海と申します。

臨床工学技術部門では血液浄化装置や体外循環装置、呼吸管理機器などの生命維持管理装置をはじめ、先端技術を取り入れたさまざまな医療機器の操作や保守

・点検を担う臨床工学士が所属する専門部門です。これらの機器が安全かつ適切に使用されるよう、日常的な管理や点検を行い、医療の安全性を支える役割を担っています。

まだ経験も浅く、日々学ぶことばかりではございますが、先輩方のご指導を仰ぎながら、一つひとつの業務に真摯に取り組み、着実に知識と技術を身につけてまいりたいと考えております。休日は映画鑑賞やカフェ巡りをして心身のリフレッシュを図っております。

至らぬ点も多いかと存じますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。



東病棟4階 ICU 看護師 小田 隼士

令和8年度より東病棟4階ICUに入職いたしました、小田隼士と申します。当ICUでは多職種と連携しながら、高度で集中的な看護が行われています。現在は、先輩看護師のもとで見学や病棟説明を受けながら、患者さんの状態観察や多職種との関わりについて学んでいます。また、新人集合研修では、社会人としての接遇や看護の基本的知識・技術について学び、安心・安全な看護を提供できるよう同期とともに日々励んでいます。これから一つひとつの経験を大切にしながら、病棟方針である「安全・信頼・優しさ」を意識し、患者さんに寄り添った看護を実践できるよう成長していきたいです。

私は高知県出身ということもあり、休日には気分転換として美味しいお店を巡りながら徳島を知ることを楽しんでいます。未熟ではありますが、日々成長できるよう精進してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。